

7月3日(金) KKRホテル東京で開催 同窓生、同期生お誘い合わせて参加しましょう

静中・静高 関東同窓会 会報

平成二十一年度 関東同窓会総会・懇親会を開催します。

日時 七月三日(金) 午後六時より

場所 KKRホテル東京

東京都千代田区大手町一の四の一

(竹橋合同ビル・旧竹橋会館)

電話 03-3287-1293 2

十階「瑞宝の間」「平安の間」

会費 四〇〇〇円(但し学生は一〇〇〇円)

年会費の三〇〇〇円は当日受付も致しますがこの会報に同封の振込用紙によりご納入をお願い致します。

議題 一号議案 平成二十一年度事業報告、会計報告

二号議案 平成二十一年度事業計画、予算

総会、講演終了後は懇親会を開催します。本年は87期の当番幹事の皆さんが準備をしてくれております。皆さん多忙な中、同窓会成功を目指して頑張っています。懇親会の会費は、今年も同窓会から補助金を支出して四〇〇〇円と致しました。当日は静岡から恒例の美味しい故郷の味が届きます。

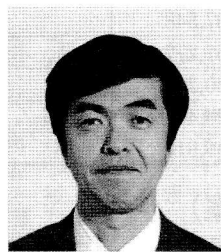
会場は好評なため、昨年度開催の会場に決まらせていただきました。最寄り駅は地下鉄東西線「竹橋駅」、千代田線「大手町駅」、都営地下

静中・静高関東同窓会
会報 第67号
平成21年6月3日発行
編集人 村松 貴彦
(77期)



鉄「神保町駅」のどこからも徒歩で行ける分かりやすい場所ですので、同窓生お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

同封の葉書に五十円切手を貼って、出席か欠席かを、また近況を記し、同窓生の消息をご存知の方は該当欄に記入して六月十五日までに投函してください。ファクシミリにて送信の場合は03-3257-0820(関東同窓会事務局)までお願い致します。



講演 講演者 小長井一男氏(87期)

東京大学

生産技術研究所教授・工学博士

テーマ

大地震は対岸の

火事ではない!

四川と静岡の類似点を
探る

講演内容

大地震が起こるとにかく現地に足を踏み入れる現場主義。その結果、似たような地形の場所には似たような地震被害の起こることが確認されました。その傾向をもとに近い将来起こりうる地震災害への対策を考えます。

会場案内図



地下鉄 東西線「竹橋駅」3b出口直結

千代田線「大手町駅」C2出口
都営地下鉄「神保町駅」A9出口

専門分野

地震後の復興戦略、構造物の耐震設計、地震時の地盤変形

1994年 土木学会論文賞受賞

プロフィール

1952年 9月2日生まれ

1971年 静岡高校卒業

1975年 東京大学工学部卒業

1979年 長岡技術科学大学工学部建設系助手

1985年 米ヒューストン大学土木工学科科学研究員

1987年 東京大学生産技術研究所助教授

1997年 東京大学生産技術研究所教授

平成20年度 収支決算報告書

自平成20年 4 月 1 日～至平成21年 3 月31日

静中・静高関東同窓会

(収入の部)

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
年 会 費	2,100,000	2,181,000	81,000	722 名
総 会・懇 親 会 費	800,000	536,000	△ 264,000	135 名
会 報 広 告 料	240,000	240,000	0	12 社
本 部 助 成 金	800,000	800,000	0	
受 取 利 息 等	0	36,382	36,382	銀行利息・総会祝儀
計	3,940,000	3,793,382	△ 146,618	
前 年 度 繰 越 金	5,028,920	5,028,920	0	
合 計	8,968,920	8,822,302	△ 146,618	

(支出の部)

総 会 費	1,150,000	1,011,132	△ 138,868	
準備費会場費等	250,000	263,797	13,797	
懇 親 会 費	900,000	747,335	△ 152,665	138 名 (来賓 3 名)
会 報 発 行 費	1,350,000	1,527,663	177,663	年 2 回・9,000 部
印 刷 費	500,000	620,008	120,008	
送 料	650,000	724,175	74,175	
編 集 費	200,000	183,480	△ 16,520	
役員理事会費等	600,000	467,273	△ 132,727	
旅 費 交 通 費	100,000	158,226	58,226	本部・支部総会出席等
振 込 手 数 費	50,000	31,775	△ 18,225	銀行・郵便局
コンビニ振込費等	240,000	299,987	59,987	接続基本料・手数料
事務費・通信費	370,000	262,452	△ 107,548	
慶 弔 費・雑 費	80,000	131,277	51,277	餞別、本部・支部総会費
計	3,940,000	3,889,785	△ 50,215	
次 期 繰 越 金	5,028,920	4,932,517	△ 96,403	
合 計	8,968,920	8,822,302	△ 146,618	

平成21年度 収支予算書 (案)

自平成21年4月 1 日～至平成22年 3 月31日

静中・静高関東同窓会

(収入の部)

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	摘 要
年 会 費	2,300,000	2,100,000	200,000	770 名
総 会・懇 親 会 費	800,000	800,000	0	200 名
会 報 広 告 料	240,000	240,000	0	12 社
本 部 助 成 金	800,000	800,000	0	
受 取 利 息 等	0	0	0	
計	4,140,000	3,940,000	200,000	
前 年 度 繰 越 金	4,932,517	5,028,920	△ 96,403	
合 計	9,072,517	8,968,920	103,597	

(支出の部)

総 会 費	1,150,000	1,150,000	0	200 名
準備費会場費等	250,000	250,000	0	
懇 親 会 費	900,000	900,000	0	
会 報 発 行 費	1,500,000	1,350,000	150,000	年 2 回・9,000 部
印 刷 費	600,000	500,000	100,000	
送 料	700,000	650,000	50,000	
編 集 費	200,000	200,000	0	
役員理事会費等	600,000	600,000	0	
旅 費 交 通 費	100,000	100,000	0	
銀行郵便局振込費	50,000	50,000	0	
コンビニ振込費等	300,000	240,000	60,000	接続基本料・手数料
事務費・通信費	300,000	370,000	△ 70,000	
本部・支部総会費	80,000	0	80,000	
慶 弔 費	20,000	80,000	△ 60,000	
予 備 費・雑 費	40,000	0	40,000	
計	4,140,000	3,940,000	200,000	
次 期 繰 越 金	4,932,517	5,028,920	△ 96,403	
合 計	9,072,517	8,968,920	103,597	

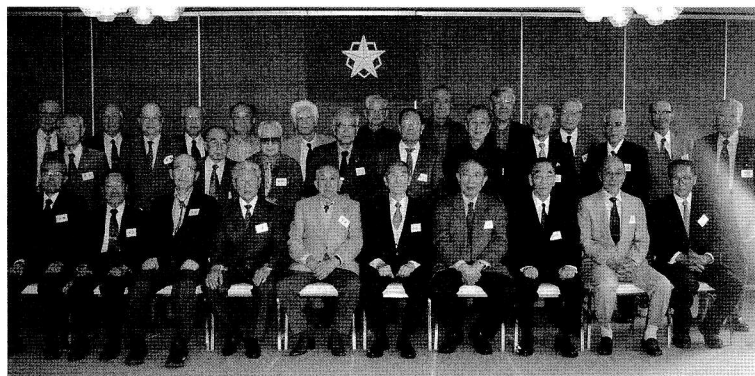
◎同期会の情報

卒業して64年！

60期同期会 笠間 達男

恒例の同期会が4月28日、静岡駅南口の東海軒会館で行われた。今年度中に82歳を迎える31名が集まった。

開会の前に記念撮影をして、亡くなった会員への黙祷を行った。東京から毎年出席する私は、最近亡くなり葬儀にも出られなかった親しかった友人を偲ぶためにも、この会は続けてほしい



平成21年度 静中60期生会 静岡市・東海軒会館

と願っている。しかし、幹事会では継続の有無が論議され、取りあえず来年はやらないという報告があった。

61期同期会

野中 寿郎

春爛漫の4月11日、毎年恒例の61期の総会をホテルアソシア静岡で開催しました。

61期は、太平洋戦争開戦の昭和16年に入学し、終戦の昭和20年3月に1年繰り上げの4年で卒業しました。4年生では学徒動員で軍需工場で働き、まさに戦中の学生生活で卒業写真も空襲で焼けてありません。

しかし戦後の混乱した時代を頑張り各方面で活躍、今年は早生まれも含め全員が80歳を超えました。

総会は、竹内平吉幹事の司会で元気に始まりしました。今年は51名が出席の返事をしてきましたが、直前になって病氣その他で欠席が相次ぎ43名となりました。

乾杯の音頭は、はるばる熊本市から駆けつけた荒井克己君がとり、再会を懐かしむ懇親会が始まりました。

懇親会の途中で東京から来た清水照彦君から、東京芸大名誉教授坪田昭三君の傘寿記念コンサートの様子が報告されました。新装なった芸大の音楽堂で約1000人の聴衆を前にオーケス

坪田昭三傘寿記念コンサートのパンフレットから抜粋



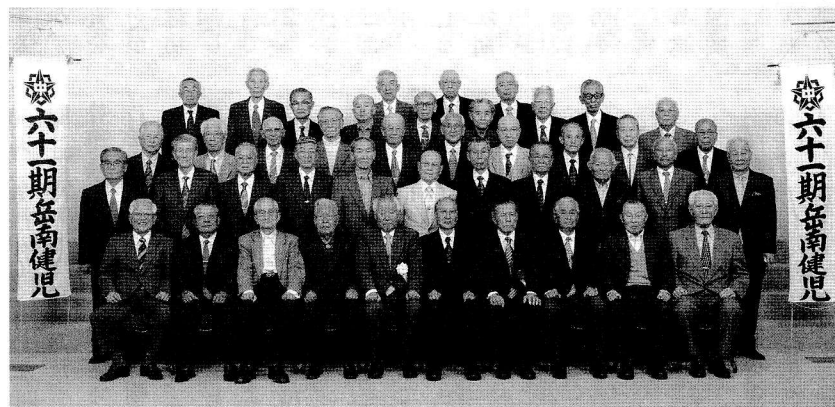
本日は、我々のコンサートにおいでいただき、ありがとうございます。今年の一月、日本人男性の平均寿命を越えて、これから、新しい階段を一步一步、上がっていくことになりました。た。(中略) 最近では、80歳、90歳を超えて尚演奏を続けておられる方も多いので、刺激剤として、ゆっくり音を楽しんで行きたいと思っています。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

坪田 昭三

トラをバックに2〜4台のピアノ演奏が行われ、その見事さに皆酔いしれたとのことでした。

坪田君は一昨年大動脈かい離と言う大病を患ったにもかかわらずその気力は見事で、61期の誇りです。

今年はいつとも最後を締める望月良君が病気で欠席したため残念ながら指揮がなく、皆で揃って校歌を斉唱し、沢田君の一本締めで来年も元気で再会することを約して散会しました。



平成21年度 静中61期生会 ホテルアソシア静岡

静高67有楽会

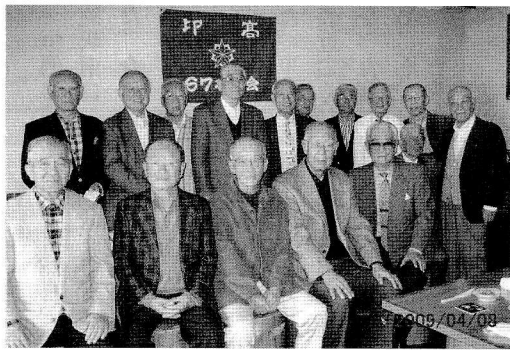
春の集い

67期 山岡 進

桜花爛漫の4月8日、第三十三回静高67有楽会を催した。

前の週は寒の戻りで寒かったが、この日は気温もぐんぐんと上がり絶好のお花見日和。友と酌み交わす美酒の前にみんなの顔はにんまり……。会場は横浜市・瀬谷の「炉香膳」。この店は静高同期、元67有楽会の仲間、故溝口淑郎氏の子息淳一郎君がオーナーである。

総勢16名、遠く千葉、埼玉からも参加があった。山岡当番幹



4月8日横浜市瀬谷「炉香膳」で

出席者 飯田、遠藤、岡村、大石、河口、黒田、小杉(謙)、小杉(弘)、児島、杉田、鈴木、手塚、長倉、増田、吉野、山岡

事の挨拶から始まり、岡村会長の挨拶、そして小杉(弘)君の静岡の消息、梶原君が3月21日に亡くなったことなどの報告があり、同君の発声で梶原君及び溝口君(当日が祥月命日)の冥福を祈り献杯をした。

料理は故郷の静岡おでん、黒はんぺんやフライなど懐かしいものをはじめ、黒毛和牛のたたきやにぎりなどが並び、みんな昔に還ってわれ先にぱくつき、且つ飲み一挙に盛り上がった。

大島君の詩吟「川中島」、遠藤君の口三味線入りの「チャッキリ節」などなど。また静岡江ノ島会会長の黒田君から江ノ島会の紹介、静岡関東同窓会副会長の児島君から、今年は7月3日に総会を開催予定なので皆も是非参加願いたいなどの話が続いた。

そしてオーナーの淳一郎君から来店のお礼、その後、小杉(謙)君から十七年も続いている67有楽会の運営の関係者に労いの言葉があり、最後のご馳走、博多の鳥の水炊きで満腹。時間も三時間になんなんとして尽きるところを知らず……。担当幹事からの声かけで全員で四番まで校歌斉唱、遠藤君の「フレ―フレ―静高、フレ―フレ―静高」、小杉(弘)君の関東一本で大盛会の67有楽会春の集いは終了

した。

今回は11月初旬に一泊で行う予定。幹事は岡村君です。

終わりに俳句と川柳

亡き友の息子のバーで春の宴

これは大石修而の句

みぞまんの面影忍びはすむ酒

(みぞまん＝溝口君のあだ名)

68期同期会

酒井 定子

3月30晦日、5時半より神田一ツ橋の如水会館で、68期同期会が例年の如く、吉崎さんのお世話で開催された。出席者は22名、年々各種事情で人数が少なくなっていくのは淋しいかぎりである。

事情はともかく、主催者の努力を思いやり、できるだけ旧交を暖めるよう努力したものである。今回どたん場出席不能となった雨宮さんは、妹さんの介護でやむなく、星野さんも出席の連絡があったにも拘らず欠席されたがどうしたか……。

介護で疲れはてた荒谷さんに代わって、あまり面識の無い私が筆を執るのはおこがましいと思ったが、勇気を持って接した鈴木昭夫さんの第一勧銀からシ



3月30日 一ツ橋の如水会館で

チズン、スター精密社長に至る間のヨーロッパ旅行の話とか、城内高校の中庭で「君は東大を受けるのか」と声をかけられてびっくりした思い出のある小林功典さんに50何年ぶりでお会いして、懐かしかった話など書いてみようかと思ったしだいである。

大石博司さんが静岡からわざわざ出席してくださり、野球部の情報、静岡浅間神社の祭り、駿府城内に天守閣を復元させる話、静岡空港に関する話、次期同窓会会長の頼末話など色々話された。28年という長年の静岡本部でのまとめ役、誠に頭の下がる思いがする。

テニス部の苦勞

67期 児島 英男

私とテニス

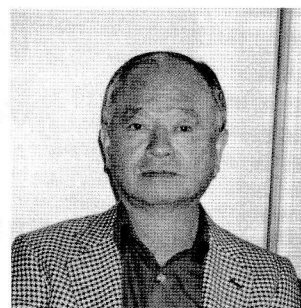
敗戦・終戦の混乱期に中学・高校時代を送り、それぞれ厳しい時代を生き抜いた世代もすでに喜寿を迎えようとしています。

私の実家は静岡市の郊外、大岩臨濟寺の近くにあり、子供の頃は臨濟寺の裏山で蟬を捕ったり浅機の沼や巴川で鮒や鮠の魚つりをして遊んでいました。

また近くには旧制静岡高校があり、このグラウンドでサッカーや草野球をして育ちました。グラウンドの片隅にテニスコートがあり、バックネット裏の草むらに転がっている硬式のテニスコートを拾って野球をして遊ん

50%、気温20℃くらいという情報に役に立つ発表だった。

大分話が進んだところで、川口さんの「そろそろ食べ物もなくなってきたようなので、この辺で校歌斉唱としましょう」、そして「お手を拝借、いよー、一本」でお開きとなった。スカットするようなバリトンだった。杉山和子さんは卓球を一振りして足の筋肉をいたため、この川口さんにエスコートされての出席だった。



67期 児島英男氏

だものです。

当時、旧制高校のスポーツ對抗戦が行われ、野球、サッカー、剣道、柔道、テニス等々、まるでお祭り騒ぎでした。テニスの試合は高等学校の帽子に腰に手拭を垂らし、太鼓を叩いてロビングを上げ絶対強打しない、ロビングの応酬です。まあまあ何と気の長いゲームと思って見ていたものでした。

戦争が激しくなり、いつしかこの広いグラウンドも兵隊さんの兵舎に早変わり、テニスコートは芋畑に変わってしまいました。昭和二十年四月、旧制静岡中学に入学したその年六月に長谷の校舎は米軍の空襲で焼失、そして八月に終戦、戦後、学校は大谷海岸に近い住友重工業の青年学校跡へ移転しました。我が家からは遠く、徒歩1時間半ぐらいかかりました。

ある時、近所に住む柴田克朗先輩(63期)から、伝統ある硬式テニス部を復活させるから入部しないかとの勧誘、そこで入部したのがテニスを始めたきっ

かけです。昭和二十一年、中学二年の時でした。もちろん軍需工場跡地の校舎でしたからテニスコートなど無く、雑草取りからコート造りがはじまりました。

焼失した長谷の旧校舎のテニスコートの跡地から、部員一同でローラーを遠い道のりを引っ張り運び、先輩の指導でコートらしきものを造りました。勿論正式なテニスコートではなく地面を削って平らにし、コートを固めるために苦塩(にがり)を大谷海岸まで買いに行つて撒いたり、ローラーを引っ張ったり、荒縄を引っ張り、石灰を溶かして刷毛でラインを引いたりネットを張ったり片付けたりの毎日でした。

勿論バックネットはありませんから、下級生はもっぱらボール拾いで、ラケット持って打たせてもらえませんでした。やっとなでたせてもらえるのは薄暗くなつてからです。

終戦直後のことですから、食べ物も乏しく、ゴム底の運動靴もラケットもボールまでなかなか手に入らない時代です。ガットのシープなどとても貴重品、ナイロンなど未だこの世に無く、ボールも日本製は富士ボールで、粗末なボール箱に6個入っており、表面のフェルトはすぐに剥がれ、ゴムが出てきてツルツルになったものです。しかしこのボールもなかなか手にはいらず、

東京お茶の水にある日本テニス連盟に依頼して、1、2回使用したセットボールの配給が頼りだったと思います。我々下級生はこのボールも打たせてもらえず、先輩が使ったあとのツルツルボールで練習したものでした。

そのうち校舎が三菱重工跡へ移転、さらにまた城内の旧陸軍第三十四連隊跡に移転しました。ここは兵舎跡のためグラウンドは広く、ここでまたコート造りを学生たちの手で始めました。ここでは敷地に余裕があったので2面のコートを造りました。勿論バックネットなどありません。そのうち戦地から復員されてきた山田幸作先輩(54期)がコーチに来てくださるようになりました。

夏のサマータイトム時、会社の帰りにコーチにきていただき、また夜は本通りのご自宅へ皆で押しかけテニスのお話を聞かせていただきました。

当時、進駐軍(米英軍)のPX(酒保)には我々一般人にはなかなか買えないウイソンやスラゼンジャーなどの上等なテニスボールがあり、岩井平一郎先輩(57期)がこのボールを持ってくるがありました。缶を開ける時、「プシュ」と言う圧縮空気の音と匂いに、珍しさも加わり歓喜したものでした。また原木大先輩(49期)、山田勝也先輩(56期)、杉山英男先輩

(58期)にも大変お世話になりました。

当時大谷の旧制静岡高校にはバックネットも付いた立派なテニスコートが2面あり、このコートをお借りして指導いただきました。斎藤久雄先生(独語)、麻生武雄先生(化学)、清水汪先輩(59期)、諸田実先輩(61期)の皆さんには大変お世話になりました。

その後静岡にも斎藤先生はじめ立花喜代二氏(静銀取締役)、浜下市造氏(静岡オブライト社長)、大地スポーツ店の大地社長などのご努力で、立派なテニスコートが市役所の隣の旧御用邸跡地に完成、硬式テニスを広めるため、日本のデビスカップ選手の隈丸、中野、鶴田、鶴原さん達を招き模範試合が開催されました。

私たちはボール拾いとして加わっていましたが、日本の一流プレーヤーの試合を間近に見て感激したものでした。

和田重雄先生(国漢)、村上春水先生(体育)に引率され、高校テニス大会に参加のため東京の東伏見コートや池袋の立教大学テニスコートで試合をしました。また夏は大阪の甲子園テニスコートや中百舌のテニスコートで試合をしました。さらに昭和二十五年秋、第5回国民体育大会が名古屋で開かれ、高校テニス部門で県の代表として参加、

名古屋の栄町にあった立派なテニスコートでプレーしたことが楽しい思い出となっています。

東京にテニスの試合に行ったとき、私のパートナーだった狩野君の伯父さん、狩野和男先輩(59期)の中目黒の下宿に狩野君と一緒に宿泊させていただき大変お世話になりました。

そのころは受験戦争に駆り立てられることも無く、青春をテニスに打ち込んでいたものでした。卒業を間近に控え、長谷の旧校舎跡へ移転の話が持ち上がり、テニスコートは是非昔のプール横の東南の角に造るよう先生にお願ひして卒業しました。

社会人になって、東京に居住してから叔父の山上信重(47期)の勧めで皇居内にあったパレステニスクラブに入会していましたが、このクラブは都民公園になったため解散、今度は明治神宮外苑テニスクラブに入り、現在も土曜はテニスプレーを楽しんでいます。

嘗てはこのクラブで増井三郎先輩(44期)、山上信重先輩(47期)もメンバーとして活躍されておりました。現在は清水汪先輩(59期)、山中博司氏(73期)、成岡和美氏(86期)がメンバーとして活躍しています。このクラブで毎年東京近郊の在住者のテニス部OBの有志が集まってテニスをしています。(平成二十一年四月)



~~~~~

~~~~~

73期

関東同期会開催

山梨 由記

去年の11月29日、西新宿のホテルで例年通り、年一回の同期会が開催されました。古希に当たる年で今春までには皆々70歳になった事である。今年の幹事の中川明久、望月公美、大村博らが女性達を多く集めようと努力された由、嬉しい限りである。

73期での女性は12人で、その内の7人が集まりました。写真左から京都の田中(小川)泰子、浜松の間淵(渡辺)啓子、沼津から渋谷(国崎)けい子と東京の浦野(栗田)澄子、遠山(小沢)敦子、飯塚(佐藤)迪子、後藤(伴野)孝子である。広島からは木村栄一が来て、参加者は48名であった。

山中博司会長の挨拶で開会し、女性全員に総数70本のバラの花束が贈呈されました。女性ばかりが戴くことに恐縮しておりましたが、何せ輝く才媛・秀才・美女が喜ぶ顔を見るのも我等の楽しみ。この見事な演出は幹事役のアイデアであった。

司会者から指名されて遠山敦子の挨拶が始まった。

「レディス&ジェントルマン。ジェントルマン、ジェントルマン」遠山の挨拶が始まったの知らない一部の男性のお喋りが止まり、やっと話が始まった。

「城内中学の一年生の時に静岡に転校して来て、その後、静岡に入学しました。静岡は質実剛健、文武両道の素晴らしい高校であり、静岡を故郷と思っています。富士山を毎日眺めて通学出来て幸せであった」と述べた。

小生の希望としてトルコ駐在大使や文部科学大臣の時代の話を沢山聞きたいと願っていたが、田中泰子は大阪外語大学ロシア語教授を退官したが、もう一度大学で勉強したいとの意欲を語った。間淵啓子が挨拶に立ち、「佐藤さんや栗田さんに卒業以来、52年振りに会った」など現況報告した。未だまだ皆々意気軒昂である。更に、静岡から参加の大石安任が静岡の現状を話し始めた。小生が「静岡弁でお願いしたい」と言ったら「長い間、東京で勤務していたので静岡弁は出ないのだ」と言うのであった。

女性7名は丁度7席の円卓に座っているので分け入って座る

ことも出来ず残念無念と感じたのは小生だけではなかったらう。誰かの作戦かな。写真を撮って廻り、静岡からのおでん、はんぺんの数々を美味しく食べながら、未だこの人と話したい、あの人も話したいとおもっている内に閉会の時間だと言われ、楽しい時は直ぐに過ぎてしまった。これも残念無念で再会を約する事となった。

最後に校歌斉唱する事になり小生の役目として指名されて前に出ると、「応援団長」の声が掛かるが、小生は応援指導部創設者ではあるが、実際の応援団長は友田力(早稲田大学の応援団長となった)に任せたのであった。

校歌を歌った後の「フレイフレー静高……」の発声は声高く息も長く続き、席に戻ると相変わらず元気者と評された。みんな健康、元気でいて欲しい。

毎年の事だが誕生日には自己判断ながら体力測定をしている。腕立て伏せは40回で腹筋運動は50回以上、スクワットは、丁度椅子に腰かけるように腿が水平になる程まで中腰にして屈伸運動を3分間で50回を行った。

前年は腕立て伏せは50回行うことが出来て、トリプル50回であったのだが少々残念。又、鍛えるとするか。心臓も肺もシン

パイ無い。その他の内臓も元気であるのは幸いである。

後日、会場で撮影した写真が出来たので参加者に送付して感謝された。また、同期会に参加又は不参加の人にも、小生の保有している同期生のEメールアドレス宛てに画像を送信した処これは大変喜ばれた。都合が悪く参加できなかった人が写真画像を見て、こんな楽しそうな会で、あの人の人に会えるなら来年は是非参加したいとのメールの返事を頂戴した。

写真は自分が写っている枚数だけが郵送されるが、画像送信は20枚あり写真に写っている人の名前も、パソコンのソフトを使って氏名を記入してあるので大変便利で重宝したと後日の評価であった。同期会には不参加で画像メールを買った同期生から質問があり写真に写っている某君の消息を知りたいのでEメールアドレスを教えて欲しいとの連絡を受けたが個人情報保持を約束して預かったアドレスもあるので教えられないが名簿上公表されている住所、電話番号なら教えるので連絡し合えば良いと伝えた。それも役に立った様だ。次回幹事は中西英一、望月智、杉山光が指名された。今年の秋に皆々の元気な顔に会える事を今から楽しみにしている。

静岡情報報

緊急インタビュー

富士山静岡空港が開港

地元静岡に6月4日、空港が出来た。静岡では連日マスコミで取りあげられお祭り騒ぎ。空港に期待するもの、これまでの経過など、空港に詳しい県議会議長の天野一氏(77期)に聞いた。

Q まずどこにどんな規模の空港が出来るのですか。
A 牧の原台地の190haに2、200mの滑走路をもつ。
Q 交通アクセスは？
A 東名高速・吉田ICから11キロ、相良牧之原ICから9キロ、静岡市内から家用車で40分の距離。空港ターミナル周辺に2、000台収容できる無料駐車場を完備させる。

Q 古い計画のようですが、いつからのプロジェクト？
A 昭和62年、当時齊藤滋与史知事の時ですから、22年前からの計画で、長い期間かかりました。
Q 経費もたいへん掛かっているでしょう。
A 総事業費1、900億円かかっています。
Q 途中いろいろ問題があったようですが。
A 地権者と話し合いが立ち往生したりしました。
Q それだけ？
A 立ち木や測量ミスがあり、石川静岡県知事の辞任まで及びました。いずれも年内には解決し2、500m規模の正式開港が迎えられると思います。

鈴木の子会社が航空会社

Q ところで、どんな航路がでますか。
A JALとANAが札幌、福岡そして沖縄へ就航します。札幌は1日2往復、福岡は3往復、そして沖縄は1日1往復運行します。

Q どんな飛行機でしょう。
A 150～120席規模の中型ジェットです。
Q 鈴木さんも参画？
A フジドリームエアラインズを立ち上げ、石川県の小松に、そして熊本・鹿児島に運航が決まっています。こちらは7

月23日からで、ブラジル製の76席規模のジェット機です。小松まで1時間で行けますよ。

韓国、上海へも海外便も

Q 海外には？

A 韓国のソウルへアジア航空と大韓航空が、そして中国の上海へ中国東方航空が就航します。

Q どのくらいの時間で行ける
A ソウルまで2時間10分、上海までは2時間半です。

Q 便利になりますね。

A 北京、香港、台北、さらにグアム、ハワイへの路線や直行便なども充実させていきたいと考えています。

Q 出て行く人だけでなく入ってくる人は？

A 韓国、中国の人になんとも言っても富士山です。伊豆の温泉地も魅力です。専門家に依頼して静岡の良い所をもっともとくと伝えたいと思います。

秋にはいずれにせよ非常に便利になりますから是非ご利用ください。

Q ありがとうございます。

聞き手 村松貴彦(77期)

なお天野一氏の議長の任期は5月15日までで、この会報が発刊されたときは一議員になっている予定。

お笑いコンビ、ホームラン

静岡同窓生には珍しい芸能人である高瀬莊一(芸名ホームランたにし)さん84期を紹介しましょう。高瀬さんは静岡2年まで野球部、マネージャーも努めました(写真右)。

昭和43年に卒業、サラリーマン3年を経て、在学中からの志望であった芸能界へ転身、三波伸介事務所所属し10年間を芸能人として腕を磨いた後、57年に小野ヤスシさんの弟子であった勘太郎さんとお笑いコンビ「ホームラン」を結成、漫才師としてデビューしました。その後テレビドラマ「おしん」に出演、森進一公演の司会などテレビ、CM、映画、舞台、イベントに個性を生かして精力的に活躍しています。

今回の総会の懇親会ではゲストとして「ホームラン」の芸を披露、皆さんを楽しませてくれます。ご期待ください。

(77期・清水雅尚)

●編集より

「静岡の万葉を歩く」を長年にわたりご執筆いただいていた原崎郁平氏(51期)は、5月11日骨髄ガンのためお亡くなりしました。長年同窓会にご尽力いただきました。お疲れさまでした。

原崎さんを悼んで



原崎さんが亡くなりました。軽く「さん」付けで呼べるような大先輩ではありませんが、ご本人も私(達)もお酒が大好きで、よく一緒に時間を過ごさせていただきました。

お目にかかった翌日から翌々日には、ご自身で撮ってくださいましたその日の写真がきれいにプリントされて届きました。そのようなことに大変疎い私は驚いたものです。

原崎さんは関東同窓会の会報第30号(平成2年12月)から「静岡の万葉を歩く」を昨年末

の第66号まで37回にわたって連載されましたが、その文章と写真に大いに感銘を受けました。

短いお付き合いでしたが、もう一緒に「原崎さん！」と呼べないことが残念です。ご冥福をお祈り申し上げます。合掌。

76期 鈴木 浩



77期 天野一氏(県庁議長室で取材)

平成二十年度 静中・静高関東同窓会会費拠出者一覧表

ご協力ありがとうございました。

66 65	64	63 62	61	60	59 58 57 56 55 54	53 52 51 50 49 48 44	
山梨裕司、大坪 信之、内田 幸雄、瀬尾 章、 山本 和彦	長嶋 健、遠藤 栄、松下一 男、新井 彰、 塚本 光彦、佐藤 弘幸、馬場 泰男、長谷川 直和、 岩本 吉雄、栗田 行雄、佐野 旭、杉本 哲、 永田 進一、野澤 正憲、益頭 尚之、豊納 健蔵、 増田 政雄、田中 耿、仲野 實	三枝 弘之、田喜 光 吉川 隆士、横井 一、香川 一郎、手塚 俊一 宇佐美 道夫、入江 喜久夫、大石 一輔、 三枝 弘之、田喜 光	大石 次男、君島 敏男、清水 照彦、高村 岳史、 奥野 泰助、高山 秀男、土井 正園、清水 澄夫、 諸田 実、八木 貞二、稲森 慎二、山崎 和夫 吉川 隆士、横井 一、香川 一郎、手塚 俊一	内藤 敏夫、岡田 尚、黒田 武之助、益田 清聞、 山本 正三、笠間 達男、石関 忠雄、井田 淳、 谷 龍治、原田 龍二、山本 雅之助、酒井 美高、 堤 崇、鈴木 光男、上杉 重吉、富田 一男 大石 次男、君島 敏男、清水 照彦、高村 岳史、 奥野 泰助、高山 秀男、土井 正園、清水 澄夫、 諸田 実、八木 貞二、稲森 慎二、山崎 和夫	小沢 忠樹、宗 四朗、中田 千束 清水 逸郎、松田 光彦、奥野 進、山口 弘 原川 久雄、坂田 秀雄、岩井 平一郎、酒井 博 須山 静夫、天野 国明、海野 進、伊藤 健三 大村 和夫、増田 真一、朝比奈 正二、青木 豊、 長谷川 邦三、川田 昭、菅原 操、増田 勝郎、 内田 武二、小花 敏郎、福地 彊、青山 勇、 近藤 陽三、清水 汪、田澤 義彦、狩野 和男、 大塚 恒、山田 一夫	松下 清夫 近藤 希賢、青木 香 杉本 久敬、嶋 三四郎 浅賀 博澄 原崎 郁平、林 盛次、渡辺 功 小川 善次郎、茂呂 茂樹、西田 豊馬 志田 寿一、木宮 高彦、望月 昂、橋本 久仁寿、 宗像 醇、桜井 昌也 大畑 忠夫、佐野 圭司 小沢 忠樹、宗 四朗、中田 千束 清水 逸郎、松田 光彦、奥野 進、山口 弘 原川 久雄、坂田 秀雄、岩井 平一郎、酒井 博 須山 静夫、天野 国明、海野 進、伊藤 健三 大村 和夫、増田 真一、朝比奈 正二、青木 豊、 長谷川 邦三、川田 昭、菅原 操、増田 勝郎、 内田 武二、小花 敏郎、福地 彊、青山 勇、 近藤 陽三、清水 汪、田澤 義彦、狩野 和男、 大塚 恒、山田 一夫	
72	71	70	69	68	67		
松木 茂夫、今泉 烈、櫻井 正之、夏目 雅之、 長倉 眞一、宮崎 次郎、八木 隆佳	片山 嘉博、浦田 彰、西野 章、海野 幸雄、 矢部 正和、梅原 孝允、本間 啓司、今村 清彦、 遠藤 吉隆、佐藤 利治、実石 欣哉、奥村 鋭一郎、 山田 卓夫、栗田 甲子男、後藤 弘枝、小池 啓治、 岩崎 謙一郎、曾根 幸一、石川 宏、下 薫、 伏見 弥寿子、前田 利彦、遠藤 幸男、山本 雅司、 繁村 一雄、富野 壽、加藤 祐史、諏訪 逸郎、 長倉 眞一、宮崎 次郎、八木 隆佳	清 智、桔梗 昌枝、中村 龍二、石山 博、 関 哲男、宮代 省一、有田 久、小沢 良輔、 河井 良夫、清水 令一郎、関 哲男、谷川 治弘、 富田 三樹、北村 孝、仁科 正雄、久沢 正雄、 片山 智司、鈴木 明次、広瀬 直、白石 通子、 片山 嘉博、浦田 彰、西野 章、海野 幸雄、 矢部 正和、梅原 孝允、本間 啓司、今村 清彦、 遠藤 吉隆、佐藤 利治、実石 欣哉、奥村 鋭一郎、 山田 卓夫、栗田 甲子男、後藤 弘枝、小池 啓治、 岩崎 謙一郎、曾根 幸一、石川 宏、下 薫、 伏見 弥寿子、前田 利彦、遠藤 幸男、山本 雅司、 繁村 一雄、富野 壽、加藤 祐史、諏訪 逸郎、 長倉 眞一、宮崎 次郎、八木 隆佳	磯 西 洋、築地 六郎、小林 功典、野中 省三、 高林 彰夫、天野 高広、城内 和、土谷 尚子、 原 久弥、堀 久夫	宇田 貞子、大川 庄治、河口 浩、星野 敏郎、 大石 康博、植田 勇夫、針谷 實、栗田 瑞夫、 岩瀬 順郎、鈴木 昭夫、羽生 尊司、荒谷 じつ子、 鈴木 俊彦、杉山 和子、雨宮 明生、酒井 定子、 磯 西 洋、築地 六郎、小林 功典、野中 省三、 高林 彰夫、天野 高広、城内 和、土谷 尚子、 原 久弥、堀 久夫	市原 卓、吉崎 英輔、江崎 善三郎、塚本 浩司、 河口 浩、秋山 和也、望月 芳朗、瀬堂 川徹、 宇田 貞子、大川 庄治、河口 浩、星野 敏郎、 大石 康博、植田 勇夫、針谷 實、栗田 瑞夫、 岩瀬 順郎、鈴木 昭夫、羽生 尊司、荒谷 じつ子、 鈴木 俊彦、杉山 和子、雨宮 明生、酒井 定子、 磯 西 洋、築地 六郎、小林 功典、野中 省三、 高林 彰夫、天野 高広、城内 和、土谷 尚子、 原 久弥、堀 久夫	向井 久和、小杉 弘、丸山 英久、大石 修而、 山岡 進、手塚 重明、増田 安国、福原 亨一、 松岡 健、朝倉 勇、朝比奈 正三、岡村 英二郎、 鈴木 敏行、杉田 勝男、滝川 博、大森 恵吉、 児島 英男、小沢 俊二、黒田 秀幸、小杉 謙一、 遠藤 一彦、杉山 明、山川 静夫、 市原 卓、吉崎 英輔、江崎 善三郎、塚本 浩司、 河口 浩、秋山 和也、望月 芳朗、瀬堂 川徹、 宇田 貞子、大川 庄治、河口 浩、星野 敏郎、 大石 康博、植田 勇夫、針谷 實、栗田 瑞夫、 岩瀬 順郎、鈴木 昭夫、羽生 尊司、荒谷 じつ子、 鈴木 俊彦、杉山 和子、雨宮 明生、酒井 定子、 磯 西 洋、築地 六郎、小林 功典、野中 省三、 高林 彰夫、天野 高広、城内 和、土谷 尚子、 原 久弥、堀 久夫	大村 敏夫、河守 輝雄、森山 秀夫、増井 和夫、 小林 成敏、石川 剣二、佐野 栄一、牧田 祐治、 大塚 修弘、武藤 勇、久保 泰夫、小林 五郎、 曾根 錦吾、安池 智策、原野 谷朋司、藤原 朝則、 加藤 博司、馬越 峻、山下 裕一、小嶋 清司、 村松 武司、村越 立彦、馬淵 逸明 向井 久和、小杉 弘、丸山 英久、大石 修而、 山岡 進、手塚 重明、増田 安国、福原 亨一、 松岡 健、朝倉 勇、朝比奈 正三、岡村 英二郎、 鈴木 敏行、杉田 勝男、滝川 博、大森 恵吉、 児島 英男、小沢 俊二、黒田 秀幸、小杉 謙一、 遠藤 一彦、杉山 明、山川 静夫、 市原 卓、吉崎 英輔、江崎 善三郎、塚本 浩司、 河口 浩、秋山 和也、望月 芳朗、瀬堂 川徹、 宇田 貞子、大川 庄治、河口 浩、星野 敏郎、 大石 康博、植田 勇夫、針谷 實、栗田 瑞夫、 岩瀬 順郎、鈴木 昭夫、羽生 尊司、荒谷 じつ子、 鈴木 俊彦、杉山 和子、雨宮 明生、酒井 定子、 磯 西 洋、築地 六郎、小林 功典、野中 省三、 高林 彰夫、天野 高広、城内 和、土谷 尚子、 原 久弥、堀 久夫
78	77	76	75	74	73		
山本 勇夫、鎌田 勇、宇田 進一、水野 泰安、 飯田 善久、加藤 雅久	山内 幸太郎、後藤 嘉代、岩崎 敏宏、石山 建一、 柴田 哲男、袴田 共之、松井 義之、柴田 哲男、 清水 雅尚、森 正毅、三浦 位通、栗野 吉州、 栗田 収司、三浦 昭彦、村松 貴彦、野方 重人、 大岩 蓮、仁科 光司、江頭 真彦、小長井 圭幸、 勝間田 正喜、川島 宏祥、飯島 千代美、 岩田 守正、鈴木 眞一、深山 源一、滝野 公一郎、 飯田 善久、加藤 雅久	鈴木 浩、吉井 秀子、坂内 三容、栗生 璋、 塚本 平二、森田 くに代	望月 利人、小林 銑一、佐藤 修一、井出 辰一郎、 大島 高志、柳澤 弥太郎、望月 純蔵、今田 肇、 白坂 徳雄、勝 亦 正安	中村 牧子、藤原 經史、角谷 治子、望月 保、 佐野 捷造、田中 佐知子、萩原 茂春、湯本 辰行、 井鍋 正良、菊池 芳彦、佐藤 鐘司、西村 泰一、 井出 宏嗣、山口 雅子、熊谷 敦子	西本 昇平、松永 烈、山下 省三、石川 征四郎、 岡本 修、後藤 孝子、渡辺 雅俊、鈴木 聡男、 塩津 浩、中西 英一、三浦 英夫、後藤 宏、 松下 勝朗、鈴木 斉、石川 久男、小山 武夫、 石川 八洲夫、久保田 信義、近藤 守、望月 智、 山梨 由記、榊原 由之、林 さち子、羽山 武、 山本 一雄	深田 均、桜井 正之、清水 雅彦、村手 正之、 山口 公子、佐藤 允弥、種茂 雅之、中野 保男、 竹内 正和	

ご協力ありがとうございます。

石川 暢子、石井 博之、牧浦 義孝、望月 昭彦、
縣 保佑

79

伊藤 彬、野村 公美、小林 一義、江川 豪雄、
小林 陽三、井出 雅子、太田 節一、上田 尚亮、
大石 恵則、山本 勝、須川 恒次、菅野 佳男、
森 一麻、小川 郷太郎、有本 勲

80

武田 忍、鈴木 勝、小木 哲朗、玉井 直子、
角谷 勝彦、飯田 早苗、柴田 裕、竹内 勤、
吉田 和悦、大石 孝裕、原田 雅之、上出 和子、
吉野 卓史、山本 洋一、藤江 通昌、田中 穰、
増田 千次郎、榎本 進、鎌田 曙美、青野 稔、
増田 安久、久保田 政美、池ヶ谷 吉人、
野崎 幸彦、柴山 勲

81

松永 旭、森下 鉄夫、鈴木 真男、山田 哲夫、
岡部 政之、丹羽 正雄、浜野 雅哲、宮崎 太加志、
本多 英一、英嘉明、鈴木 素明、伊井 和良、
梅沢 浩二

82

堀内 淳司、岩崎 年史、鈴木 政雄、荒牧 喬平、
小笠原 正樹、大村 多聞、山崎 雅子、君塚 静男、
遠藤 良治、大石 正幸、八牧 浩行、秋山 好、
多賀 谷 秀保、鈴木 良彦、田畑 秀典、宮城 島仁、
吉岡 宜治、金子 恵子、石川 康宏、狩野 行雄、
鈴木 栄二、伊沢 佐知子、八木 久子、石津 保彦、
計良 光一郎、細川 晃、吉田 昌史

83

中村 豊、増井 敬、松永 吉隆、野呂 克美、
富永 武則、長島 銀之助、鈴木 秀孝、久野 泰可、
鈴木 潤、山本 章夫、山本 雅敏、的場 滋、
北山 幸治、大石 高志、勝又 徳明、久野 淑子

84

野口 洋一、山田 孝夫、曾根 徳明、三宅 幸夫、
角替 博、塩谷 立、成田 恵理子、宇佐美 裕民、
高瀬 莊一、吹井 承三、吉野 文江、杉本 浄、
古谷 良樹、杉山 順一、藤田 佳子、
増井 喜一郎、佐野 幾子、杉山 由紀子、望月 光、

85

○各期ごとに幹事役を決めて同窓会・
同期会の活発化を図っています。

○幹事未定の期は至急選出して
連絡してください。

86

望月 敬生、池田 幸司、栗田 博通、遠藤 とも子、
竹田 徹、内野 直樹、北條 正裕、高橋 成彰、
芹澤 一夫、濱本 真二、江川 彰子、小島 良子、
青山 隆一、漆原 敦子、八牧 暢行、近藤 孝邦、
成岡 和美、伊藤 広子、加賀屋 正之、谷 恵美子、
長島 正、野口 ひろみ、野口 洋亮、増田 一之、
森 信介、森 清治、湯山 茂徳、杉浦 哲

87

平岩 正史、薬科 名雄、篠田 みつ江、深沢 哲夫、
石渡 洋行、高橋 宏、遠藤 久資、横山 葉子、
木下 撰、蓑輪 陽一郎、坂田 正治、家徳 洋一、
田村 勉、沢井 良輔、滝 幸彦、横山 隆美、
谷口 ひとみ、斉藤 幸子、田中 育恵、大村 康二、
江間 彰夫

89

西谷 昭、北村 佳久、北村 美佐子、中村 昌義、
内田 寿寛、山崎 真紀子、池田 磨佐人、鳥巢 修、
中村 昌義、渡辺 明人

90

清水 美久、森田 悦三、小川 修史、川島 雅行、
山下 雅子、田辺 文子、松永 陽子、原木 義久、
村松 秀明、伴野 昌厚

91

平松 裕、浦野 利信、田村 真弓、
英公一、大羽 章弘、高柳 広之、山本省吾、
飯塚 雅人、石川 隆、磯部 洋祐、安藤 暢彦、
大石 修一、松野 敦子、亀山 晴信、照井 徹、
野中 保晃、中安 昭夫、田野 茂、海野 元良

92

永江 総宜、尾下 康宏、長見 子、牛見 豊、
堀川 玲子

93

中尾 安志、鈴木 里絵子、金森 康典、辻田 敦子、
寺田 淳、
勝山 基弘、櫻井 のり子、中島 敏晶、富川 マミ、
堀内 秀樹、
山本 浩志、鈴木 竜三、小柳津 良行、
三浦 一郎、竹中 教明、
五十嵐 寧、牧田 秀幸

94

関東同窓会会費

一年間 3000円

関東同窓会の会計年度は、4月1日より3月31日まで
のもので、静岡本部は10月1日から、異なり
ますのでご注意ください。

101

大石 智子、
遠藤 文則、
穴澤 敦子、
白井 正博、
佐藤 敬子、
石野 孝典、
橋場 聖子

102

大村 卓矢、
永山 知子、
斉藤 光美、
鈴木 良和、
青木 理、
村松 暁、
鳥居 大祐、
鈴木 貴晶、
鈴木 文菜

103

大石 智子、
遠藤 文則、
穴澤 敦子、
白井 正博、
佐藤 敬子、
石野 孝典、
橋場 聖子

104

大石 智子、
遠藤 文則、
穴澤 敦子、
白井 正博、
佐藤 敬子、
石野 孝典、
橋場 聖子

105

大石 智子、
遠藤 文則、
穴澤 敦子、
白井 正博、
佐藤 敬子、
石野 孝典、
橋場 聖子

106

大石 智子、
遠藤 文則、
穴澤 敦子、
白井 正博、
佐藤 敬子、
石野 孝典、
橋場 聖子

107

大石 智子、
遠藤 文則、
穴澤 敦子、
白井 正博、
佐藤 敬子、
石野 孝典、
橋場 聖子

108

大石 智子、
遠藤 文則、
穴澤 敦子、
白井 正博、
佐藤 敬子、
石野 孝典、
橋場 聖子

大石 智子、
遠藤 文則、
穴澤 敦子、
白井 正博、
佐藤 敬子、
石野 孝典、
橋場 聖子

お詫びと訂正

前回の会報1ページ
目次「会報」に、総
会開催日を7月6日
と記していましたが、
実際は4日でした。
また3ページに「し
りあがり寿氏」93期
は92期の間違いでし
た。そのほか数箇所
にわたり間違いがあ
りました。謹んでお
詫び申し上げますと
ともに訂正します。

石（墓、石碑）のことなら (株) イシフク

望月 威男 (77期)
熊野雄二郎 (84期)
望月 茂樹 (101期)
望月 秀康 (107期)

〒421-1224 静岡市葵区飯間 71
TEL 054-278-6610

関東の人に紹介したい良い環境

八王子

東京 霊園

〒193-0826 東京都八王子市元八王子町
TEL 0426-61-6734

○お墓、石碑、建材、石のことなら気軽に相談ください。

鈴 与 株 式 会 社

取締役社長 鈴木与平 (76期)

〒424-8703 静岡市清水区入船町11-1
TEL 054 (354) 3015 (秘書室)
京浜支店 〒140-0013 東京都品川区南大井6-25-3
ビリーヴ大森5F
TEL 03 (6404) 2100

日本レーベル印刷株式会社

代表取締役会長 岩井平一郎 (57期)

本 社 〒422-8004 静岡市駿河区国吉田3丁目1番1号
TEL 054 (262) 1111(代)
東京支社 〒104-0031 中央区京橋1-1-6 越前屋ビル8F
TEL 03 (3272) 4651 (代)

株式会社 富士越化成

代表取締役会長 野澤正憲 (64期)

〒140-0004 東京都品川区南品川2-17-11
TEL 03 (5783) 3841
FAX 03 (5783) 3755

お茶の心を伝える 愛 国 製 茶

代表取締役会長 馬場 泰男 (64期)

本 社
東京都新宿区西早稲田3-7-9 TEL 03-3207-1611(代表)
高田馬場店
東京都新宿区高田馬場4-12-7 TEL 03-3363-6611(代表)

東京無線タクシーグループ 公和自動車交通株式会社

〒162-0813 東京都新宿区東五軒町3-3 ☎03-3269-3281

都心のオアシス・ゴルフ練習場 (株)公和ゴルフセンター

大江戸線・若松河田駅隣り ☎03-3202-6558

代表取締役 山中博司 (73期)

自動車・火災・傷害保険 (株)大高保険事務所

代表取締役 清水雅尚 (77期)

〒150-0011 東京都渋谷区東3-15-8
TEL 03 (3406) 9350
携帯 090-7800-3767

同窓会で人の輪を!!

野方重人法律事務所

弁護士 野方重人 (77期)

〒101-0045 千代田区神田鍛冶町3-7-3
藪下ビル6F
(TEL) 03 (3251) 2348
(FAX) 03 (3257) 0820

昼2時より夜11時まで診療 タカラ歯科診療所

代表 ^{ワラシナアキオ} 藁科名雄 (87期)

東横線 中目黒下車 徒歩5分
TEL 0120-376-480
FAX 03-3710-8847
〒153-0051 目黒区上目黒2-18-13

相続税・法人税・所得税などのご相談どうぞ!

鳥巢修税理士事務所

税理士 鳥巢 修 (89期)

OSAMU TOSU

〒167-0041 東京都杉並区善福寺1-30-17
TEL 03(3396)3858 FAX 03(3396)3848
E-mail: tosu@mtj.biglobe.ne.jp

調剤薬局……関東・東海・関西中心に135店舗

株式会社 アイセイ薬局

健康と幸せを願って

代表取締役 岡村幸彦 (93期, 応援指導部)

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町2-14-5
TEL 03 (5651) 7200
<http://www.aisei.co.jp>